

『雪対策特別賞』受賞

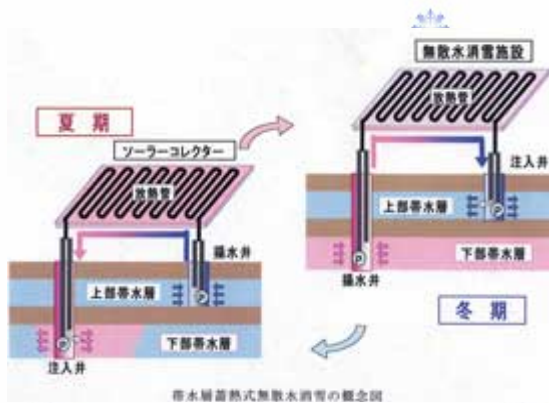
消融雪システム検討委員会



「帯水槽蓄熱式無散水消雪」が新技術として、省エネルギー・環境リサイクル型消融雪施設として位置付けられ、平成10年度から詳細設計と現地調査が開始されました。

その施設の設計及び設置、効果調査、施設の有効性、技術資料の策定に至まで、はば広い見地から検討を行う目的として、学識経験者3名を含む「消融雪システム検討委員会」が設置され、平成10年度から平成14年度にかけて年2回～3回程度開催してきました。

「帯水槽蓄熱式無散水消雪」の施設は夏期に太陽熱により蓄熱した地下水を冬期に再び汲み上げ通常より高い温度の地下水として消融雪に使用するシステムなので、その夏の蓄熱運転と冬の消雪運転の効果的かつ効率的な運転方法が非常に重要であります。現在、本施設は委員会の提言を受け効果的な稼働を続け、実用化しています。



帯水槽蓄熱式無散水消雪の概念図

実施機関：
消融雪システム検討
委員会

